

特別委員会行政視察（概要）

1 視察日

令和5年11月16日（木）～17日（金）

2 視察項目（視察都市）

- ・武蔵野プレイスについて（武蔵野市）
- ・立川市子ども未来センターについて（立川市）

3 参加委員

委員長：福丸 孝之、副委員長：大嶺 さやか

委員：岩本 守、大村 卓司、西本 睦子、松本 泰典

委員外議員：桂 睦子

4 調査概要

武蔵野プレイスは、図書館、生涯学習支援、市民活動支援、青少年活動支援の機能を備えた複合施設であり、4つの機能をまとめることで、多様で異なる活動が出会い、人の交流を生み出し、まちを活性化することを目的に平成23年に開館した。ハード面では、部屋ごとの仕切りを作らず、人が出入りしやすい回遊性のある「空間ブラウジング」、ソフト面では、公益財団法人武蔵野文化生涯学習事業団を指定管理者として一体的な管理・運営をしている。

立川市子ども未来センターは、旧市庁舎を改修し、リニューアルした施設であり、整備にあたっては、隣接する市民会館と一体的に活用することを目標に①子ども未来センターの指定管理、②旧市庁舎・市民会館の改修工事、③市民会館の指定管理の3つの契約を合わせて、プロポーザル方式による選定の結果、9社から成る合人社計画研究所グループが選定された。子育て・教育、文化活動及び市民活動支援等の多機能を持ち、また、観光拠点として施設の一部をまんがぱーくとして活用し、賑わいの創出に寄与している。



5 委員長所感

武蔵野プレイスは、多機能を持つ施設であるが、フロア毎に目的を持って静寂さを保つフロアと騒がしくても大丈夫なフロアと分けていることが素晴らしいと感じた。地下2階は青少年しか利用できないフロアで、大人は入室できないルールとして運営している。子どもたちの秘密基地の様な雰囲気、子どもたちが安らげる空間が出来上がっており、とても魅力的に思えた。

立川市子ども未来センターも複合施設として運営されている。特に目を引いたのは、まんがぱーくである。施設管理者が提案し、市が採用したということであり、民間ならではの発想だと感じた。

武蔵野プレイス、立川市子ども未来センターともに館の前に広場があり、どちらも建物内も建物外も市民が憩える空間となっている。本市のおにクルも芝生広場を有しているので建物の機能と芝生広場とが有機的に管理運営されていくように心がけていきたいと感じた。